

～高丸山の森づくり情報～



遊学の森便り

第 210 号
241129

11月の遊学の森のようす



下旬の高丸山です。ブナ林ではすっかり木々の葉が落ちて、秋も終わりです。冬に入っていきます。



ぽかぽか陽気の中、紅葉した遊学の森を歩くと、とても気分がいいです。散策に良い森です。



赤や黄色、茶色、緑など、いろいろな色の木々が一目で見られました。紅葉は目を楽しませてくれます。



先月、ボランティアグループが作業した区画です。木を伐ると、森に光が入って明るくなります。



真っ赤に色づく、コハウチワカエデ。黄葉が多い森なので、赤色は目立ちます。本当にきれいでした。



ブナの葉の紅葉です。黄色や緑、茶色などバリエーション豊かです。やがてすべて茶色になります。

■森づくり活動など報告

●活動期間 11月1日～30日

区画管理	日付	被害箇所	内容
獣害被害防除 ネット修復	11月 3日 23日	2か所 3か所	<p>森づくり区画の外周を囲うネットの見回りと、被害報告です。今月は被害が少なかったのですが、1か所の被害が大きなものでした。ネットに大きく穴が開いて、シカくらいの大きさなら悠々と通過できるくらいです。もちろん、きちんと補修しました。</p> <p>これから本格的な冬に入っていきます。動物たちの動きがどうなるか、気にしつつ見回りを続けていきます。</p> <p>(右写真は、中心部に大きな穴が開いています。破るのも大変だったろうと思います)</p>



■トピックス

●秋の紅葉と実りご紹介

遊学の森を歩くと、たくさんの葉っぱが色づき、落葉していました。葉っぱを踏みしめて歩くと、いい音がします。その中にいい色の葉っぱが落ちていました。それを並べてみたのが、上段右の写真です。赤や黄色のみならず、赤くなりきれなかった葉、緑が残った葉などさまざまです。裏返すと（上段左）、表と違う色をしている葉もありました。不思議です。

下段の写真は、秋の実りです。左から、フジ、イヌザンショウ、ツルウメモドキ。今年は夏の暑さのせいか、実りが少ないように感じます。その少ない実りを食べに、野鳥たちもやってきていました。動物たちも冬越しの準備をはじめています。



千紫万紅のミズキ、モミジ類です



裏面ではミズキは灰色。発見でした



さやがはじけると種が飛び出ます



黒い実をメジロが食べていました



黄色の果皮が割れて赤い実が出てきます

●高丸山ブナ林の活動など

11月はブナ林でもいろいろありました。写真右は、教職員の研修様子です。小枝の切断面を磨き、そこを顕微鏡で見ると、おどろきの拡大図が。みなさん「おお～」と声を上げていました。

写真右は、登山道の修繕が完了したようすです。石垣が崩落したため、これまで注意して歩く必要がありましたが、もう大丈夫。木製のブロックで工事してくれました。



徳島県立高丸山 千年の森ふれあい館（指定管理者：一般社団法人かみかつ里山倶楽部）
〒771-4502 上勝町旭中村 66-1 TEL：0885-44-6680 E-mail：sennennomori@kkcatv.jp
※本紙は、千年の森 HP にフルカラーでアップしています <http://www.1000nen.biz-awa.jp>